

# 競 技 注 意 事 項

本大会は2024年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1. 練習について

- (1) 練習は、P 4 記載の練習時間の使用日程に従い実施すること。
- (2) 本競技場での投てき練習は、指定された種目・時間以外禁止する。その際、監督の付添のもと危険防止に努めること。

## 2. 招集について

- (1) 招集所は、100m スタート付近外側に設ける。選手はプログラムに示す招集開始時間に、スパイク、シューズおよびアスリートビブスのチェックを受け、招集完了時間に競技役員の指示に従い入場すること。
- (2) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (3) 2種目以上(例えばトラック競技とフィールド競技)を同時刻に兼ねて出場する競技者、棄権については、必ず所定の届け出用紙を招集所に提出すること。

## 3. 競技場への入退場

- (1) 入退場は競技役員の指示に従うこと。

## 4. 競技について

- (1) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (2) トラック競技において決勝進出者を決める場合、タイム進出者の最下位で同タイムが出た時は、判定写真を拡大し細部(電気計時 1 / 1000)まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合でレーンに余裕がある場合は決勝ラウンドへ進むことができる。レーンに余裕のない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- (3) スパイクシューズのピンは、全天候舗装のトラックであるので9mm以下とする。但し、走高跳とやり投げは12mm以下の平行ピンとする。
- (4) 靴底の厚さは、800 m未満のトラック種目:最大20mm、800 m以上のトラック種目:最大25mmとする。但し競歩については40mm以下とする。フィールド種目について、三段跳は25mm以下、三段跳以外の種目は20mm以下とする。
- (5) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載のナンバーの左1・2・3……の数字で示す。
- (6) アスリートビブスを着用する時は、切ったり、曲げたり、またいかなる方法でもかくしてはならない。きちんと止め、ナンバーがよく見えるようにすること。跳躍競技のアスリートビブスは、胸部または背部のいずれか一方でよい。
- (7) 競技者に対する競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むこともできない。しかし、フィールド種目に出場している競技者が、当該競技者に代わり競技区域外にいるものによって録画された試技の映像を手にとって見ることは認められる。【TR6.4.5】
- (8) 三段跳の踏切板は、男子11 m、女子8 m及び10 mとする。女子については、招集の際にどちらを選択するか確認する。
- (9) 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。

5. バーの上げ方について 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

| 種目     | 練習 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5      | 以後1人になるまで           |
|--------|----|--------|--------|--------|--------|--------|---------------------|
| 走高跳(男) | 任意 | 1 m 60 | 1 m 65 | 1 m 70 | 1 m 75 | 1 m 80 | 3 cmずつ              |
| 走高跳(女) | 任意 | 1 m 30 | 1 m 35 | 1 m 40 | 1 m 43 | 1 m 46 | 3 cmずつ              |
| 棒高跳(男) | 任意 | 2 m 60 | 2 m 80 | 3 m 00 | 3 m 20 | 3 m 40 | 3 m 40 以降<br>10cmずつ |
| 棒高跳(女) | 任意 | 2 m 00 | 2 m 10 | 2 m 20 | 2 m 30 | 2 m 40 | 2 m 00 以降<br>10cmずつ |

上記以外のバーの上げ方と、天候その他の特殊条件によって変更する場合のバーの上げ方は審判長が決める。

第1位が同記録の場合の、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2 cm、棒高跳5 cmとする。  
(代表決定も同様に行う)

6. 用器具について

用器具は棒高跳以外は主催者の用意したものを使用すること。

7. 表彰について

- (1) 各種目3位まで賞状を授与する。
- (2) 男女各1名に優秀選手賞を授与する。

8. 諸届出について

- (1) 抗議は競技規則第TR8に従って、定められた時間内に各校監督などが口頭で審判長に行う。
- (2) リレーチームの編成メンバーは、リレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、少なくとも2名はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
  - ・リレー競走に出場するチームは、その種目(1組)の招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙に、オーダーを記入し提出すること。
  - ・リレー・オーダー用紙は、招集所に用意しておく。
- (3) 提出書類は次の表のとおりとする。

|   | 提出書類     | 提出場所       | 提出時間                          |
|---|----------|------------|-------------------------------|
| ① | 欠場届      | 競技者係(招集所)  | 招集開始時刻まで                      |
| ② | 2種目同時出場届 | 同上         | 同上                            |
| ③ | リレーオーダー届 | 同上         | その種目1組の招集完了時刻1時間前まで           |
| ④ | 上訴申立書    | 総務(預託金1万円) | 審判長の裁定後、予選・準決勝は15分以内、決勝は30分以内 |
| ⑤ | 記録証交付願   | 本部 総務      | 記録発表30分後から、全競技終了30分後まで(300円)  |

9. その他

- (1) 発病、負傷に対しては応急措置以外の責任を負わない。
- (2) 衣類および携行品の各1品ごとに製造業者名を付けることができるが、その大きさは面積40cm<sup>2</sup>・縦5cm以内で1ヶ所とする。
- (3) 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (4) 各種目3位以内の入賞者(学年別の種目は学年枠をはずし、記録の上位から3名)が中国大会への出場資格を得る。但し、同一種目には同一校から2名以内が規定なので、上位3名が同一校の場合は4位以降の選手を繰り上げ、出場資格者を決定する。